

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 講師派遣事業  
厚愛地区介護老人保健施設連絡協議会  
リハビリテーション部会研修会に参加しました。

(公社)神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

平成 28 年 2 月 10 日(水)医療法人聖和会介護老人保健施設「さくら」におきまして「災害時におけるリハビリテーションの役割について」をテーマに厚木市内の介護老人保健施設に勤務しているリハビリテーションスタッフの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を対象に、災害時における支援体制を検討する研修会の講師を担当させていただきました。

厚愛地区介護老人保健施設連絡協議会では、今年度より厚木市内に勤務しているリハビリテーション関連職種の「顔の見える関係性づくり」をキーワードにリハビリテーション部会を発足し、部会長の村上智之先生を中心にネットワークづくりや研修会を開催しています。

今回は、今年度最終の研修会として、災害時リハビリテーション支援の概要および災害対策キャラバンを通じた県内各地域における当会災害対策委員会活動事業の紹介と介護老人保健施設のリハビリテーションスタッフが平時より備えておくべき事項について、ディスカッション形式で積極的な意見交換を行いました。

避難所の設営や運営、また避難行動支援や在宅被災者に対して準備しておくべき事や、発災後から支援活動を行うまでの具体的な方法について検討しました。

トピックとして、平成 25 年 6 月の災害対策基本法の一部改正により、高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方（要配慮者）のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方の名簿（避難行動要支援者名簿）の作成を義務付けること等が規定されました。厚木市においても、ひとり暮らしの高齢者や日中

独居高齢者の安否確認と避難所への移動支援については、厚木市地域包括支援センターを中心に災害時における避難行動要支援者対策がすすめられています。

リハビリテーション関連職が地域防災に関わるメリットは、通常時の業務における介護予防や健康支援事業が、災害時には自助能力や共助能力の向上にも大きく寄与する事です。「地域づくりにつながることは防災にもつながる」という事にも着目していただければと思います。

また、わたしたち自身や家族の安全を守るための家庭や施設における備蓄や防災についても話題提供をさせていただきました。

災害対策委員会では災害支援対策関連の勉強会、研修会の講師派遣を承っております。また来年度も災害対策研修会と災害対策キャラバンの開催を予定しております。より多くの方々のご参加を



お願い致します。